

# 令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

## 北九州市立 白 銀 中学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、2年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

### 1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

### 2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の2年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

### 3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

#### 質問紙調査の結果分析

運動やスポーツに関する意識について、「することが好きですか」、「大切なものですか」、「する時間を持ちたいと思いますか」という質問に対して、男子については、肯定的な回答をした割合がいずれも全国・北九州市のポイントを上回っている。特に、「大切なものですか」という質問に対しての肯定的な回答は100%であった。女子については、「することが好きですか」、「大切なものですか」の質問に対しての肯定的な回答は、全国・北九州市のポイントを上回っているのに対して、「する時間を持ちたいと思いますか」の質問に対しては大きく下回っている。また、「放課後や学校の休みの日にスポーツをすることありますか」の質問で体を動かすことがあると答えた生徒は7%しかおらず、全国・北九州市が50%あるのに対して大きく下回っている状況である。次に、生活習慣については、「朝食は毎日食べますか」の質問に対して、「食べない日が多い」と回答した生徒が男女とも10%を超え、全国・北九州市を上回っている。

### 4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で)

保健体育においては、少人数・ティームティーチングでの授業を行い、それぞれのステップに応じた課題を提示し、「運動が嫌い・運動が苦手」な生徒への支援を継続して行う。また、『学び合い』形式で活動するため、生徒主体での活動がメインである。生徒同士で教え合い、仲間と触れ合う楽しさを感じられるようにする。また、ICT機器を活用し、すぐに正しい動作・行い方を視覚的に理解できるよう工夫している。

#### ② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

保健体育の授業の中でも『学び合い』を行い、他者に伝えることで理解を深めている。教師がポイントを伝えるのではなく、子ども達同士でポイントを見つけ、教え合い、主体的に活動している。また、先生役として、仲間にアドバイスする生徒とも事前の打ち合わせを行い、1時間の中で達成感を味わせたい。そして、両者ともにできる喜びを感じて、更に意欲的な活動につなげていきたいと考えている。